



魔法の虹の川

ミミ・ウェルナ

エドウィン・アイラバー

日本語: Kotone Maekawa



幼児期からの
おうち算数

Early
Family
Math



Interactive Story

日本語

保護者の方へ

3つのレベル お子さんに合ったレベルを選びましょう。質問やコメントをする時には考える時間を与えましょう。お子さんが答えに詰まった時は手助けをし、正しい答えには少し膨らませた質問やコメントをしてみましょう。

レベル**1** 簡単で直接的な質問をします。見えるものについて尋ねたり指をさしたりしましょう。おもちゃはどこかな？何をしているのかな？その名前は何かな？色は何かな？いくつボールがあるかな？

レベル**2** お話のある部分について一般的な質問または自由に答えられる質問をしてみましょう。ここで何が起きていると思う？この物の仲間は何かな？

レベル**3** お話の筋について質問をしてみましょう。何が起こったのかな？次はどうなるかな？これと似たようなことが前にあったかな？この時、この子はどう感じているかな？

数学のテーマと単語 この物語には形と説明があります。単語の練習: 円、円弧、楕円、線、辺、直線、長方形、曲線、色の名前、虹の色、二重、高、ペア、2 ずつ数えます。

楽しく読んで話しましょう！ 書かれている質問やコメントはほんの一例に過ぎません。

1 回目は赤の質問とコメントを読みます。

2 回目は青の質問とコメントを読みます。

3 回目は緑の質問とコメントを読みます。

その後はお子さんの興味に合わせて、楽しい方向に話を進めてください。



ウドゥー、エルドゥー、エリウム
の3兄弟は雨の音楽を聞いて
いました。彼らはその中で踊り
たかったのです。彼らは空にか
かる虹に触れたかったのです。
母は「無理」と言いました。

彼らは彼女の考えを変えたいと
願いながら泣きました。うまく
いきませんでした。エリウムは
虹を見に行くためにこっそり家
を抜け出そうともしました。

1. 虹は、空の雨粒を通して太陽光が輝く
ときに発生します。虹の色は、赤、オレ
ンジ、黄、緑、青、藍、紫です。これを
レインボーカラーとして覚えている人も
います。

2. 藍色はそのリストに載せるべきではな
いと主張する人もいます。あなたはど
う思いますか？

3. 虹にはいろいろな種類があります。二
重虹や雪が降ったときに発生する虹など
があります。このような珍しい虹を見た
ことがありますか？



母は彼が行く前に彼を捕まえました。彼女はエリュムと彼の姉妹たちにも聞こえるように声を上げました。

「風邪をひくかもしれないよ」と母は言いました。「あなたはペッパースープが好きじゃないけど、風邪をひいたら食べなきゃね」と母は微笑みながら付け加えました。

1. 部分的な円を円弧といいます。虹の色は弧を描いていると思いますか？
2. エリュムは外に出て虹を見たり触れたりしたかった。虹に触れたことがありますか。それは可能だと思いますか？
3. 何かをしたくて、大人に「やめなさい」と言われても、やろうとしたことはありますか？



彼らが話を聞いてくれるのを期待して、母はこう言いました。

「虹は癒しの力を持つ魔法の川です。でも、空高くにあるので、到達することはできません。風邪をひいたら、あなたを助けられません。

子どもたちはこう考えました。

1. 彼らの母親は、虹の魔法の癒しの力についての話をするつもりです。続きを読む前に、虹についてあなた自身の物語を作ってください。

2. この絵の直線は、このページに似た四角形をたくさん作ります。あなたの周りにはいくつの長方形が見えますか？

3. たくさんの直線を見ると退屈に感じることもある。この直線を面白いと感じますか、鈍いと感じますか？。曲線の鉢の方が面白いですか？



「お母さん、私たちの虹の話を聞かせて」とエルドゥは言いました。「はい、お願い、お母さん、私も聞きたい」とウドゥーが声をかけた。「私も」エリュムは3本の小さな指を立てて懇願した。

「まあ、見てみよっか、うーん」と母はふざけて言いました。「わかった、みんな、集まってね。お母さん、語り手が来たよ！」

1. あなたに伝える物語を作ってくれる誰かがあなたの知り合いにいますか？誰かがあなたに物語を語ったときに感じる感情を説明してください。
2. 時々、人々のグループが交代でストーリーの一部を構成し、一緒にストーリーを作成することがあります。これを試したことがありますか？
3. このページで子供たちが幸せだとどうやって言えますか？彼らの顔や体の位置でそれが明らかになるのは何ですか？



は長方形ではありません。楕円は、一方向に引き伸ばしたり縮めたりした円です。この敷物は真円ですか、それとも楕円形ですか？

エルドゥは、彼らがトーテムとして使っていたかき混ぜる棒であるナハを目指して走った。彼女はそれを母親に手渡した。エリウムはお母さんが被せる被り物を手に入れました。彼女のキャラクターを表現することに失敗することはありませんでした。

彼らは皆、静かに座って、何度も聞いた話を聞いていました。ウドゥーはホイッスルを吹き、母親にスタートするよう告げました。物語が始まりました。

1. ストーリーテリングなどの特定のイベントで使用する特別な服や物がありますか？
2. イベントの種類に関連付けられた一連の物事や特定の場所を持つことは、機会を共有しているという感覚を生み出すのに役立ちます。誕生日パーティーなど、特別な服を着たり、特別な活動をしたりする特別なイベントについて説明してください。

3. 壁のフレームは長方形ですが、床の敷物



「かつて、虹は魔法の川でした。ムバデデの緑の森の中に隠されていました。治癒力があるため、守られていました。

病気のときは、水を飲みました。虹はいつでも喜んで分け与えてくれました。ちょっと、行儀の悪い人は好きじゃなかったんだ。」

1. この物語は、あたかも感じ、考えることができるかのように、虹の川について語ります。私たちの世界の動物以外にも感情や思考があると思いますか？
2. この物語は、川が行儀の悪い人々を好まないということについて語っています。これを予兆といいます。やがてそんな人物が物語に登場することを物語っている
3. 行儀の悪い人が川を乱すために何ができると思いますか？



「川の魔法のおかげで、岸边にはアイスクリームがありました! 水を飲みに来た人たちも、特に子供たちはアイスクリームを楽しんでいました。

川からのアイスクリームは、赤、オレンジ、黄、緑、青、紫、藍でした。」

1. この色のリストは、レインボーカラーのリストとどう違うのですか?
2. 彼らは全身にアイスクリームを塗っています。食事をするとき、きちんと整理整頓するのが好きですか、それとも乱雑にするのが好きですか?
3. 川岸で色が混ざり合うのを見るのは楽しい。黄色と青を混ぜると緑になります。他の色を混ぜるとどうなりますか?



「ある日、ムボムといういたずらな老婆が向こうの国からやって来た。到着すると、彼女は一人の衛兵と出会った。彼は彼女を知らなかったので、奇妙な感覚を覚えた。しかし、彼はその気持ちに耳を貸さなかった。

彼は森への道を指し示し、川に敬意を払うよう彼女に言った。ムボムはそれに同意し、水辺に向かった。

1. 時々、私たちは感じることはできても完全には理解できないものについて感情を抱くことがあります。そうした感情に耳を傾け、それを理解することを学ぶことは、一生かけて学ぶ素晴らしいスキルです。

2. あなたにとってまったくふさわしくないとされる人を見たことがありますか、あるいはおそらく、恐怖を感じながらもその理由がわからない状況に陥ったことはありますか？あなたがその感情を抱いたときは、その感情に耳を傾け、それを理解するように努めてください。

3. 彼らの後ろには大きな森がある。木は何本数えられますか？



「彼女は飲み物を飲んで癒されました。それから彼女は見られていないことを確認するために周りを見回しました。

ムボムは石を拾い上げ、投げ込みました。彼女はそれが上昇し、波紋に広がるのを観察しました。彼女は満足しました。彼女は棒を拾い上げ、それを投げ込みました。同じことが起こりました。」

1. ムボムの体は治ったようだが、心はまだ病んでいた。これが警備員が彼女について感じたことだと思いますか？
2. あなたはなぜ川が彼女の心を癒せなかったと思いますか？
3. 彼女は癒されて大喜びすると思うだろう。しかし、彼女は幸せそうには見えません。なぜ彼女は石を投げて川に投げ入れたのでしょうか？



「ムボムはすぐに水に飛び込みました！彼女は永遠の命を得ることを望んでいたのです。彼女が飛び込むとすぐに、川が増水しました。それは空高くまで伸び、決してムバデデには戻れませんでした。しかし時々、川をまた感じるために雨の後に虹が続きます。そして、私の物語はここまで。」母親は言いました。

1. 誰でも永遠に生きることは可能だと思いますか？宇宙は永遠に存在すると思いますか？
2. 一人の利己的または思慮のない人が全員の状況を台無しにする可能性があります。良いものを作るには多くの人からの多大な労力が必要なのに、少数の人がそれを台無しにするのはなぜ簡単だと思いますか？
3. 友達と一緒にいて、一人の人間が他のみんなの楽しい時間を台無しにしてしまったときのことを思い出せますか？



「それで、みんなは私に言います、なぜこの物語がそんなに好きなの？」と母は尋ねました。「あなたたちははよく私にそれを話してと頼むよね。」

「自分の感情に注意を向けることを思い出させてくれるから大好き」とウドゥーは微笑みました。「虹の色を思い出すのに役立つ」とエルドゥーは付け加えました。

1. 今、虹の色を覚えていますか？
2. この写真にある多くのものはペアになっています。いくつ見つけられるか見てみましょう。
3. 椅子と人を組み合わせると、脚は何本になりますか？そのために脚を2ずつ数えることをしましたか？



エリウムは自分の運を押し上げようとした、「アイスクリームを思い出すから大好きです！今食べてもいいですか？」

「うーん、寒いから明日アイスクリームを食べようか？」母は言います。それから彼女は付け加えました。「次回は、虹の終わりの話をしよう」

1. アイスクリームが好きですか？できるなら、いつもアイスクリームを食べますか？
2. 好きな食べ物は何ですか？時期によって選択は異なりますか？たとえば、暑いときはお気に入り、寒いときは別のお気に入りを選びますか？
3. 虹の先には宝があると言う人もいます。この母親が虹の果てにある宝物について語るような物語を作ってください。

Magical rainbow river

Author -- Mimi Werna

Translation -- Mimi Werna

Illustration -- Edwin Irabor

Language -- English

Level -- Longer paragraphs

© African Storybook Initiative 2018

Creative Commons: Attribution 4.0

Source www.africanstorybook.org